



園だより 冬休み

その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。

ヨハネによる福音書 1 章 9 節

先週の週末 3 日間で、学年ごとに幼稚園でのクリスマス礼拝をお家の方々と一緒に守ることが出来ましたこと感謝申し上げます。年中・年長組には当日お休みの子どもたちもおりましたが、神様にお与えいただいたそれぞれに心温まるひとときが今年も大切に過ごされました。

12 月はアドヴェント最後の週を迎え、クリスマスがやってくることを伝えるオーナメントはどの学年のものを作っても良いときとなりました。懐かしそうに年少・年中さんのオーナメントを作る年長さんなど、それぞれに 3 種類の中から選び楽しんで作っている姿に、毎年のこの時期の様子ではありますが、小春日和の中の恵みのときは温かくかけがえの無い日々でありました。

アドヴェントクランツの灯りをともし、毎日守るお礼拝。年少組の子どもたちにとっては初めて。礼拝で聴くクリスマスのお話、そしてクリスマスの讃美歌。始めはクランツのローソクの灯りに引き寄せられ、そわそわ。それが毎日肅々と守られることで第 3 アドヴェントの頃にはそれぞれに心を整え礼拝のお話に耳を傾ける姿がありました。年中組の子どもたちは、神様のお言葉「聖句」を皆で伝えるというお仕事を神様からいただいて、心をひとつにとても素敵に担いました。そして年長組の子どもたちは待ちに待ったメッセンジャーとして、幼稚園にいるすべての人々、お家の方々に「クリスマスの喜び」を伝えるという、神様からの大切なお仕事を担い、本当に心のこもった聖誕劇を届けてくれました。

この世の光として待ち望んだイエス様のお誕生をお祝いするクリスマスまでの日々には子どもたちそれぞれの心もちが溢れていました。そして、その一つひとつが子どもたちの心の育みにつながっています。

2 学期も保護者の皆様のご理解とご協力により、子どもたちのかすかにして短き心もちに寄り添い、共に過ごした豊かな日々となりましたこと感謝申し上げます。

ご家族でのクリスマス、そして良い年をお迎えになられますことお祈りいたします。来年も宜しく願い申し上げます。

園長 駿河 幸子

